

会 議 録

1 会議名

平成 29 年度第 7 回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

①（仮称）北本町新保育園について

(2) 研修等について（公開）

① 「（仮題）春日山城に関する講演と意見交換会」について（案）

② 春日地区町内会長との情報交換会について（案）

(3) 自主的審議について（公開）

① 分科会の設置について

② 分科会の進め方

3 開催日時

平成 29 年 8 月 10 日（木）午後 6 時 30 分から午後 8 時 10 分まで

4 開催場所

上越市役所木田庁舎 4 階 402・403 会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：安樂大、今井 孝、太田一巳、大竹明德（副会長）、金子隆一、佐藤美奈子
 渋谷 俊（副会長）、田沢 浩、田中幸晴、谷 健一、新野武宣、野澤武憲
 橋本桂子、藤田晴子、星野 剛、吉田幸造（会長）、吉田 実、鷺澤和省

（欠席 2 人）

・ 保育課：小山副課長、倉石施設配置適正化係長、柏村主任

・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【野口係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【山田センター長】

- ・第2庁舎火災に伴う事務所移転に関する報告。

【吉田会長】

- ・会議録の確認：吉田 実委員に依頼
議題「(1) 報告事項①(仮称)北本町新保育園について」保育課に報告を求める。

【保育課：小山副課長】

- ・挨拶

上越市、土橋地内に建設中の新しい保育園の園名が7月末に決定したので報告する。昨年9月から建設を進めている新しい保育園の園名は所在地の地名をとり「つちはし保育園」となった。園名の検討に際しては、現在の北本町保育園の保護者の皆様をはじめ、地元町内会や移転先の土橋町内会の皆さんと意見交換を行った結果、移転先の所在地である地名を付けることが適当であると意見をいただいたこと。さらに、市内の公立保育園は所在地を表す名称が多く、園名から保育園の所在地がイメージしやすいようにした。また園名が決定したことに伴い、12月の市議会で上越市保育所条例の一部改正案を提出し、ご審議していただく予定としている。

なお、新園舎工事については地域の皆様のご協力とご理解により順調に工事が進んでおり、9日には北本町保育園の園児やご近隣の住民の皆さんをお招きし、施工業者が主催する上棟式を行ったところである。建設工事の完了については10月末、駐車場や園庭の整備工事は11月末の完了を目指しており、来年4月の開園を目指し、着実に準備を進めている。

最後に、北本町保育園の移転整備に伴い、地域協議会の皆さんをはじめ、保護者や地域の皆さんからご尽力をいただき、事業全般が円滑に進んでいることに対して、改めてお礼を申し上げますとともに、今後ともご理解とご協力を賜るようお願いする。

【吉田会長】

今の報告に質疑を求める。

(発言なし)

それでは、これで報告を終了する。

— 保育課退席 —

【吉田会長】

次に「(2) 研修等について」の「①「(仮題) 春日山城に関する講演と意見交換会について (案)」事務局に説明を求める。

【野口係長】

・資料No.2-1により説明

【吉田会長】

今の説明のとおり、研修会の日時と時間について協議する。

— 日程調整 —

・研修日時：9月14日（木）午後6時～

参加者について、地域活動支援事業の関係団体は声をかけた方がよいか、意見を求める。

【金子委員】

関係する「春日山城跡保存整備促進協議会」「蟹沢を愛する会」「越後青芋の会」と私たちだけでよいと思う。

【吉田会長】

皆さん、それでよいか。

(「よし」の声)

それでは、関係する3団体に参加を促してみようと思う。

次に「②春日地区町内会長との情報交換会について (案)」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

・資料No.2-2により説明

【吉田会長】

町内会長協議会会長との協議の結果、10月下旬から11月上旬ということと、午後7時からということになったことを報告する。委員に意見を求める。

【今井委員】

去年の意見交換会の開催以降、代わられた町内会長さんがいたら教えてほしい。

【吉田会長】

私の知っている限りでは、岩木町内会が3つの町内会に分かれたのと、木田町内会が今は代理の会長である。

【橋本委員】

討議では形式が自由ということなのだが、どんな意見でもよいとか、話は最後まで聞こうとかでよいと思うので、ある程度のルールは決めておいたほうがよい。意見交換の先に何があり、そのためにここで何の話し合いを行っているのか、何のために自分たちが来ているのか、この時間をどうやって意義のある時間として共有できるのかというお膳立てを予めしておかないと、話が深まらないのではないかと思う。

【吉田会長】

自主審議のテーマの3本柱を念頭に置いてもらい、関係する話をしたいと思っている。そうすれば、テーマに対する意見が出てくると思う。

【橋本委員】

例えば、私が属する分科会で町内会長さんに各世代と意見交換をしたいといった場合に、議論が具体的で、唐突すぎて驚かれないように、これからは町内会の皆さんにも参加していただいたり協力していただけるよう状態だとありがたい。

【吉田会長】

町内会長協議会の会長と話したときに、前回よりも突っ込んだ話をしたいことと、3つのテーマの内容については伝えてある。

【谷委員】

意見交換会は4班に分かれて行う予定になっているが、テーマは3つで分科会も3班なので、その辺の整合性はどのようにするのか。

【吉田会長】

3本の柱は柱で念頭に置いていただくことに留め、4つの班ではどういう意見を言ってもらっても構わないと思う。とにかく意見を出してもらって、後で私ども委員がまとめればよいと思う。

【谷委員】

分科会が3つに分かれているが、その中で4つに分かれるということなのか。そうすると、分科会の班が別のメンバーが入り組んでくるということなのか。

【野口係長】

本当は、3班に分かれて行えばよいのだが、それだと1班あたりの人数が多くなり、進行役の人がまとめるのが大変になるのではないかとということで4班に分かれることにした。話す内容については、先ほどの話のように、3つのテーマを念頭に置きつつ、これに縛られずに、町内会長さんが抱く地域の課題を委員の皆さんから引き出していただく。それらを持ち帰り、分科会で振り分けて、今後どう検討するのかの材料にしていただければよいと思う。

橋本委員からもあったように、町内会長さんが地域の課題を一番よく知っていると思うので、地域課題を吸い上げることが一番の目的である。

【今井委員】

今話を確認したいのだが、3班の分科会が均等に分かれるわけではないので、4班に分かれても、当日はある班では、春日城跡の話になるが、分科会的には福祉のグループの人が多いかもしいない。それを後で、まとめて自分の分科会ではないが、こういう意見が出たというのを報告するというような感じでよいのか。

【吉田会長】

私もそのように捉えているが、事務局に確認する。

【野口係長】

そのとおりだ。班分けしても、その分野に特化した方とか興味があるかどうかは、分からない。裾野を広くして、まずは、町内会長さんが持っている課題を吸い上げてそれを分科会に振り分けていくというやり方である。

【橋本委員】

資料No.2-2の(2)情報交換会の「【I】分科会」と記載してあるが、協議会の分科会と区別がつきにくいので、「グループ」等の記載に仕方にしてもらいたい。

【野口係長】

承知した。

【鷺沢委員】

4班に分かれて話をすることだが、町内会長が地域協議会で3つのテーマがあることをしっかり把握していないので、誤解が生じる場合も考えられる。事務局からもあったように、一番の目的は、各町内からの情報を提供してもらい、協議会に反映していくことである。自主的審議の3つのテーマに、各班が捉われることのないように、町内会長からの情報提供を聞くことが大切だと思う。テーマについての方向性は、ア

アイデアを提供していただき、総合的に討議をするということで理解してよいか。

【吉田会長】

それでよい。

【吉田実委員】

一度、情報交換会を行っているので、前回のときにどのような話が出たかをおさらいしておくべきだと思う。分科会では、それぞれの町内会長に何を聞きたいのか。ただ集まっても仕方ないので、例えば、少子高齢化であれば空き家の問題等、ある程度、話の的を絞っておいた方がよいと思う。

また、3つの柱に入っていないが、先般の「市長とのキャッチボールトーク」でトキメキ鉄道の新駅の話が出ていた。そういうものの扱いもどうするのか考えていかなければいけない。

【吉田会長】

意見交換会の開催まではまだ時間があるので、意見交換会に向けて分科会ごとに集まって話し合いをしていくようにすることもできる。

【吉田実委員】

町内会長との意見交換会のときに各班の中で、議長やまとめ役を、決めておくよう提案する。

【田沢委員】

今の意見に関係するが、協議会委員の役割を共有して、臨むことが望ましいと思う。また発表に際して、どのような発表にするのか、ただ出た意見を発表するのか、3本柱のテーマに沿った発表の仕方にするのかも、考慮していただきたい。

【鷲沢委員】

昨年の情報交換会の議事録を、委員と町内会長に事前配布してから班ごとに意見交換を行えば有意義だと思う。

【吉田会長】

三役で、そういう方向性で進められるように前向きに考える。

ほかに意見はあるか。

(発言なし)

それではこれで終了する。

次に「(3) 自主的審議 ①分科会の設置について」事務局に説明を求める。

【野口係長】

・資料No.3により説明

【吉田会長】

今の説明に質疑を求める。

【今井委員】

単独で分科会を開催する“パターン2”の場合、非公開のメリットは、2週間前に会議の開催決定と報告が必要ない。ところで、費用弁償の支給がなくても公開するのは可能なのか。事前のアナウンスはできないが、隠すほどではないという感じである。

【野口係長】

議論の透明性を図る上では、拒むものではないが、広く周知出来ないのも、分科会のほうで周知の工夫は必要だと思う。

【鷺沢委員】

自主審議事項も議論が始まってみないと分からないので、連絡調整の人が非常に大事な役割になる。三役が入っていない班があるので、三役がそれぞれ入って事務局との連絡等の役割分担に入っていただきたいと思う。メンバーについて再考していただきたい。

“パターン1”を原則として、それでも広く発展していった場合に、“パターン2”も行い、公開非公開の判断は、分科会独自の判断でやっていった方が活性化すると思う。

【吉田会長】

分科会に三役が入っていない班が1つあるが、事務局とのパイプ役を三役以外に任せることで良いのか。それとも、三役が2人入っている班から1人違う班へ異動するのかがどうかを事務局に確認したい。

【野口係長】

事務局としては、三役は協議会全体に関わることの調整を事務局と行っているのも、その他に分科会のリーダーとなると、大変なのではないかと思う。なので三役以外の方にやっていただくのがよいと考えている。

パターンは、2つのパターンを併用して進めていって、議論が足りないところは“パターン2”で補っていき、全体会で他の班がどのような活動を行っているのかを共有していく場面があった方がよいと思う。

【吉田会長】

今の事務局の話のとおり、三役以外の委員がパイプ役を務めることについて委員に意見を求める。

【金子委員】

私は分科会の名簿を見て、福祉の班に三役がないので、1人入ってもらった方がよいと思った。

【橋本委員】

「観光」と「安全安心」は、三役が入っているのでその場でわかるが、「福祉」の方は何らかの情報が落ちることはあるかもしれないので、そこだけ気を付ければよいと思う。三役の負担という話も理解できるので、三役がいなくても情報の共有がなされれば、他の人がリーダーでもよいと思う。

【吉田会長】

どうしても三役が入らなくてはいけないわけではないので、他の委員にやってもらえたらよいと思う。

【今井委員】

三役以外の方がやることで賛成である。多くの委員が活躍できるように、敢えて模索した方がよいと思う。

【星野委員】

分科会のメンバーは、前回の会議で決まったことである。誰がなっても皆さん務められる、できる人だと思う。事務局のパイプ役が心配であれば、事務局の人に出てきてもらい話に入ってもらってもよいと思う。そんなに心配しなくても、何か問題が出てきたら提示して解決してよいと思う。

【吉田会長】

三役以外の委員でリーダーと書記をやってもらおうことでよいか。

(「よし」の声)

3つのテーマの確認事項だが、「A【福祉】あらゆる世代が心豊かに健康で暮らせる春日区とする方策」、「B【観光】春日山城跡の観光振興策」、「C【安全安心】安全・安心に暮らせる春日区とする方策」でよいか。

【橋本委員】

Bの観光に「教育」を入れることを提案したい。観光は土地に愛着を持つことが第

一にあり、それを他の人にどのように広めて来ていただき、受け取ったものをどれだけたくさん持ち帰っていただけるかが大切になる。子どもころからこの土地に誇りを持っていることがとても大事で、大人も子どもも学ぶ楽しさでここに暮らす楽しさが循環していくと思う。観光と教育は一見、離れているようだが、春日区地域協議会らしいテーマ設定にしたらどうかと思う。

【吉田会長】

観光にいろいろなものが含まれているということだが、テーマについては総花的にしておいて、中身についてはそれぞれ討議していき、付け加えて深めていってもよいとは思いますが。

【今井委員】

私は、教育はむしろAに入れたらどうかと思う。強みの中に「上越教育大学や文教施設が充実している」とあるが、強みや弱みを考えて3つの柱になっている。大学のことはどのテーマを想定されているのか、今のところ教育に関することはどこにも書いていないが、「高齢者」は「あらゆる世代」に言い換えたので、「高齢者」に含まれる気もする。これを「行政」に言い換えると、観光振興課と教育委員会で全く違うカテゴリーになる話だが、「高齢者」に入れるか「観光」に入れるかは、議論してもよいと思う。

【吉田会長】

今、分けてどうするかよりも実際に分科会でどのような話が出るかにより決めていく方向でよいと思うがどうか。

【橋本委員】

先ほど提案したが、初動の部分の言葉の設定として定義付けて、2年目以降にテーマの名称を変えていくこともできるので、取り下げる。

【田沢委員】

今の話は重要なことで、どの項目にも通じる話だと思う。ただ、観光振興策という表現が適切かどうかは、教育ということを聞いたときに、特化しすぎていてどうかと思った。

【吉田会長】

言葉にこだわらず、班で考えてまとめてみてよいと思う。

【星野委員】

振興策にこだわる必要はないということか。

【吉田会長】

そうである。

【星野委員】

多かれ少なかれ、教育も地域に関してもすべて直接的・間接的に関係しているテーマだと思う。分科会で取り上げて、それが道から外れていたら、議論をしていけばよいと思う。一応、3本の柱に振り分けた中でそれぞれ関係してくると思う。それをこれから振り分けていくことがこれからの仕事だと思う。みんな関係があるという認識で討議をしていけばよいと思う。

【吉田会長】

まだ何が出るか分からないうちに、あれこれ言うよりも、まずは審議に入って、いろいろなものが出たら、それらを取り上げていけば、だんだんまとまっていくと思う。なので、それは後で決めることであって今決めることではない。

【今井委員】

今は、ホームページ等に載せ、審議内容を広く公表するためとして、とりあえず文言を決めるということに理解してよいのか。

【吉田会長】

それでよい。

このテーマはどのように考えて決めたのか事務局に尋ねる。

【野口係長】

これは今まで皆さんが協議してきたことを、文字にしたものである。

【鷲沢委員】

3つの柱についてはこれでよいと思うが、春日山城跡に関しては「観光」ではなく、「保存整備」にしたほうがよいと以前発言したはずだが、「保存整備」にして、そこに絡めて「観光」を含めていったほうがよいと思う。

あたためて「保存整備」という言葉にしたほうがよいと思う。

【吉田会長】

「保存整備」は、「観光」やいろいろなものと繋がってくるはずである。春日山城跡の班になった人が、それについて考えて最終的にまとめたものが、どのようなものになるかを見極めてからでも遅くはないと思うが、いかがか。

【太田委員】

今の鷺沢委員の意見だと、「保存整備」にすると、逆に視野が狭くなると思う。広い視野で考えるならば、「観光振興」という広い範囲の言葉のほうが、いろいろな意見を出して考えていけると思う。

【田沢委員】

「保存整備」が重要だという話がでたが、元々は地域の財産だということを考え併せれば、春日山城跡と地域の関わり方を今後どうしていくのかということだと思う。

【佐藤委員】

これから分科会で話し合う内容まで、ここで決めなくてよいと思う。春日区の未来を考えて、協議会でこんなことができたらいい等を、それぞれの分科会で話をすればよいことだ。

【吉田会長】

賛成である。

【金子委員】

3つの柱は、大まかに「福祉」、「観光」、「安全安心」だけでよく、細かい内容はこれから議論していくので、必要ないと思う。

【今井委員】

文言の問題なので、「それぞれは関連し合い、今後議論によっては発展していく。」と書いてもらえばよい。

【吉田会長】

テーマについては「福祉」「観光」「安全安心」というものを頭に置いて、議論をどのように持っていくかは、各班で決めていくということで決めたいが、それでよいか。

(「よし」の声)

次に「②分科会の進め方」について事務局に説明を求める

【野口係長】

・資料No.4により説明

【吉田会長】

今の説明に意見、質疑を求める。

【金子委員】

分科会だが、期限がないのだから、いつまでにまとめればよいのか教えてほしい。

【吉田会長】

3役で話し合った結果、3年目になからの答えを出してもらいたいと思う。4年目には、1つでも、2つでも市に意見書などで発信できたらよいと思う。

【今井委員】

その過程の中で、分科会で現地を見たり、視察研修等を行い、前に進めてよいのか。

【吉田会長】

それでよい。

次に、「次第4 その他」について、次回会議の開催日について確認する。

・次回の協議会：9月14日（木）午後6時から 市民プラザ第4会議室

その他について、事務局に説明を求める。

【野口係長】

地域活動支援事業「春-12の『プレハブトイレの壁画制作』駅前美化事業」について、遅延が発生しており、内容の変更があるので報告する。当初の竣工時期は8月上旬としていたが、11月上旬への変更である。この遅れにより、デザイン案の細工や資料収集、地域の方々へのアンケートも実施して完成度の高い事業にしたいとのことであるので、委員のご理解をお願いしたい。

なお、変更を承認するか否かについては、市長の判断によるものになり、市からの報告の扱いとなっている。

【吉田会長】

皆様のご理解をお願いします。

次に、三役からの連絡だが、前回の会議で鷺沢委員から事務局に頼りすぎないようにとの意見があった。毎回会議の前に三役で話し合いをし、会議の進め方を話し合っていることで、事務局だけを頼っているわけではないことをご理解いただきたい。

【鷺沢委員】

前回話したことは、事務局に頼るのではなく、三役が主体的にやっていただきたいということである。協議会委員は選挙で選出された春日区の代表なので、運営の中核は協議会委員と三役で運営していくべきだと思う。自由に発言できる空気、活性化できる環境を構築していただきたい。

【吉田会長】

三役が中心となって行ってもらいたいとのことだが、我々はそのように行っている。

【大竹副会長】

補足だが、会議の進行は三役が行うが、皆さんが主体となって意見を出していただけるように、事務局と事前協議を行い、効果的で効率的に運営をしていくようにやっている。私が、会長に代わって進行を務める場合も、採決が必要な場合は会長にやっただけでなくようにルールも守っている。協議会の主役は委員であるということを、自覚して、三役を上手く使って協議をしていただけたらと考えている。

【今井委員】

委員も三役に任せっきりになるのもよくないと思う。いよいよ分科会が始まる時に、自分たちで考えて行動することを肝に銘じて頑張りたいと思う。

【渋谷副会長】

会議の進め方について大竹副会長が説明や進行する時には、会長は委員の賛同を得てから進行しているので、その点はお間違いないようお願いしたい。

【吉田実委員】

講演会の話がでたが、春日山の観光振興については「フィールドミュージアム構想」というものがコンベンション協会から出ているので、講演会の前までに委員は各自でインターネット等で確認し、勉強してから臨んだほうがよいと思う。

【大竹副会長】

今の「フィールドミュージアム構想」についての概略資料を持っているので、必要ならば持参するがどうか。

（「お願いしたい」との声）

では、次回配布する。

【吉田会長】

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。